

東北大学陸上競技部

O B ・ O G 通信

2022 年 No.6(2022.11)

・秩父宮賜盃第 54 回全日本大学駅伝対校選手権大会

・・・5 時間 53 分 01 秒 25 位

・第 51 回東北学生陸上競技選手権大会

・・・山崎萌々子(4)が女子 100mH で 15.11(+1.0)の部記録

・・・平谷めるも(1)が女子ハンマー投で 45m24 の部記録

・第 34 回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2 ページ
・秩父宮賜盃第 54 回全日本大学駅伝対校選手権大会	3～6 ページ
・第 51 回東北学生陸上競技選手権大会	7 ページ
・OBOG 対現役対抗戦	8～9 ページ
・リレーマラソン	10 ページ
・自己ベスト更新者一覧	11 ページ
・今後の予定	12 ページ
・編集後記	12 ページ

向冬の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、全国大学駅伝対校選手権大会の結果を中心に、各種大会における選手の活躍をお伝えします。

◎第 34 回出雲全日本大学選抜駅伝競走(10/10)・・・出雲大社～出雲ドーム(島根)

今年の出雲駅伝は、地方学連選抜を含む 20 チームにより争われました。東北大学からは、田沼(M2)、工藤(4)、坂本(3)、安本(3)が東北学連選抜として選ばれ、当日は、田沼(M2)、工藤(4)の 2 名が出場しました。選手のコメントを紹介します。

4 区(6.2km)

田沼怜(M2) 21 分 04 秒(区間 20 位)

・レース展開

序盤から出遅れ前が全く見えない状況での単独走だった。また当日は 4～5m の向かい風が終始吹く厳しい条件であった。

入りの数百メートルですら全く体が動いてくれず、向かい風を受けつつ、ただひたすら耐えるだけの走りになってしまった。きつすぎてレースの記憶が正直ほとんど残っていない。

・レースを振り返って

初めての出雲駅伝ということでも高揚していた。その高揚感とは裏腹に予選会から中 2 週間で全く状態を合わせることができなかった。スタート前から状態の悪さを感じていたが、それが的中してしまったというのが率直な感想である。

それでも選抜チームの主将を務め、他大学の選手と交流できたことや全日本大学駅伝前に全国大会を経験できたことは非常に収穫であった。

昨年とは異なり(あまり?)TV に写ることは出来ませんでした。応援してくださった OB・OG の皆様ありがとうございました。

5 区(6.4km)

工藤大介(4) 22 分 14 秒(区間 20 位)

東北学連選抜の選手として出場しました。当日はかなり向かい風が強いコンディションでした。向かい風の中で単独走となり苦しい走りとなってしまいました。暑さや風など厳しい状況でも結果を残せるようなタフな選手を目指す必要があると感じました。応援ありがとうございました。

◎秩父宮賜盃第 54 回全日本大学駅伝対校選手権大会(11/6)・・・熱田神宮～伊勢神宮

9月26日に行われた東北地区予選会を通過し、3大会連続16回目となる本大会出場となりました。結果は5時間53分01秒で、25位でした。出場した選手のコメントを紹介します。

1区(9.5km)

藪下温司(M1) 31分25秒(区間27位)

1区を走らせていただいたM1の藪下です。はじめにOBOGの皆様、試走やご支援、当日の応援と多くの方々のご協力によって、全日本大学駅伝という舞台を走ることができました。今大会から沿道での応援が許可されたことで、スタートからゴールまで皆様からの声援を受けて走れたことはとても幸せな時間でした。本当にありがとうございました。

以下レースの反省となります。

レースプランとしては、全員が自分より1分以上自己ベストが速い選手だったことに加え私自身の10000mのシーズンベストが自己ベストより3分弱遅かったため、スローペースにならない限りは先頭にはつかない予定でした。実際、私にとってはハイペースの展開となったため、1km手前で集団からは離れて落ち着いて走りました。想定としては、後半に集団から離れてきた大学に追いつくか少なくとも近づくことを考えて走っていましたが、実際には3kmの時点で集団の姿が全く見えないような位置まで離されてしまい、前も全く見えないまま単独走をするというレースになってしまいました。

そのような苦しいレース展開の中でも最後まで諦めずに走りきれたのは沿道で応援して下さったOBOGの皆様の声援のおかげです。改めてありがとうございました。

いよいよ来年は中学生から始めた陸上もラストイヤーとなります。

今回のレースの結果を踏まえ、来年こそは全日本大学駅伝の舞台で他大学との勝負に加われるよう精進しますので、今後とも応援よろしくお願ひいたします。

2区(11.1km)

田沼怜(M2) 36分18秒(区間27位)

・レース展開

襷をもらった時点で前と約1分30秒差で、長い直線でギリギリ見えるか見えないかという位置関係で終始単独走に徹した。

2年前の同区間を走った反省を生かし、~2kmまでの登りである程度速いペースで入り、~9kmまでのリズムを作るようにした。ラスト2kmのだらだらした登りでやや苦しくなってしまう、ペースが予定より落ちる。ラスト1km地点に陣取った東北大学の応援団の力を借りて、ラストスパートをかけてそのまま3区の走者に襷を渡した。

・感想

予選会、出雲駅伝、全日本大学駅伝の3連戦は心身共に疲弊し、10月は終始状態が上がらず、不安と常に戦っていた。大会3日前にしてようやく上がってきた感覚があったが、好調からはほど遠い状態であった。状態が悪い中で良くまとめた方ではあるが、期待されていた結果と比較すると、お世辞にもいい結果であるとは言えないと思う。

・6年間を振り返って

私が東北大学を志したきっかけは2014年の全日本大学駅伝1区である。高校の先輩である尾形翔平(H25卒)さんの走りを見て、学業と両立しながら全国の舞台で戦う姿に憧れを抱いた。

学部4年間は全日本に出場するために努力をした。高校時代16分すら切れない平凡なランナーであったが、先輩方の指導のおかげで4年目に初めて出場することができた。

しかし個人としてもチームとしても結果は惨敗で、「ただ出るだけじゃダメだ」ということに気づかされた。

大学院の2年間は全日本で結果を出すために努力をした。個人としての結果だけでなく、一番はチームの結果である。昨年は大会直前でコロナウイルスの濃厚接触者となりチームからの離脱を余儀なくされた。5年間お世話になった先輩方ともう一度全日本を走れない事実はあまりにも残酷であった。それでも先輩方、同期、学部生の後輩たちの支えのおかげでもう

一度チームに復帰することができた。そして自分がもう一度走り出した姿を届けることが先輩方への一番の恩返しだと信じ、この1年間は戦い抜いた。

本大会の結果も含め、6年間伊勢路に挑戦し続け、悔いがないとは言いきることができない。それでもチームのことを第一に考え、「だれかのために」6年間努力を続けたことは自分をねぎらいたい。数字が第一の陸上競技において私のこのマインドは失格なのかもしれない。ただそんな自分の姿を見てこの1年間を含め、「僕のために頑張りたい」と言ってくれる沢山の仲間を得ることができた。そんな仲間と勝ち取ることができた25位の価値は今後の60年間の長い人生をかけてゆっくり考えたいと思う。

さて話は変わるが、第99回箱根駅伝予選会において敗退した某大学のOBが断片的な情報を元に、チームへの批判を万人が見ることができるSNSに垂れ流し、若いOBに諷められるという目を背けたくなる現場を目撃した。幸いにも我々は三秀会の皆様のおかげでこのようなストレスを感じることなく、伸び伸びと競技に打ち込むことができています。私も来年度からは三秀会の皆様を見習って、遠くから温かく見守り、三秀会費を納めるOBになりたいと考えている。三秀会員の皆様どうか今後とも後輩たちへのご支援宜しくお願い致します。



3区(11.8km)

鳥山拓実(2) 39分45秒(区間27位)

3区を走りました、2年の鳥山です。11.8kmを39'45"で区間27位でした。2区の田沼さんからタスキ

を貰った時点で新潟大学とはかなり差がついており、単独走になっていました。コースの特徴として細かいアップダウンが多く、そこでかなり疲労が溜まってしまったなど感じます。初の全国大会ということで実力も経験も不足しているなど改めて実感しました。チームとしても欠点が多く見付き、これからの方針も明確になったと思います。

4区(11.8km)

木村秀(6) 38分5秒(区間26位)

全日本大学駅伝で4区を走らせていただきました、長距離6年の木村秀です。

この度は予選会から本戦に至るまで、厚くご支援やご協力をいただき、無事本大会を終えることができましたことを誠に感謝申し上げます。おかげさまで最大限の力を発揮することができました。

<レースについて>

11.8 km(霞ヶ浦緑地→ファミリーマート鈴鹿林崎町店)

38'05"(Ave 3'13"4 /km; 3'02"-05"-08"-15"-05"-14"-21"-16"-22"-18"-24"-2'34")

新潟大学と自チームが同時に早発スタート。スタート直後は自分が前に出た。3'02"で1kmを通過、思ったよりも飛ばしているのだと思った。1kmを過ぎると新潟大の選手はあまりにもスムーズに自分の前に出てきて、自分の30mほど前方でレースを進められた。得意としていた高架橋でもうまく差が縮まらず、むしろ差が開いているのではないかとも思った。暑さや、比較的速いペースで展開していたこともありあまり余裕がなかった。「5km地点で待望の給水ポイント。水分補給をしたら体はもっと動くはず」と信じてレースを立て直した。6km近くの中里緑地付近の上り坂で状況が変わった。この坂で追いつかなければ前に出るチャンスがないと考えたので一気に詰め。坂が終わるタイミングで1km地点以降初めて前に出た。去年の比にならないくらいこののぼりがキツイと感じられた。脚がずっしりと重くなり、ペースは落ちていた。それでもなんとか最後までその時出せる最大限の出力でやって、新潟大学の選手に15秒の差をつけて走り切った。

今年の全日本は新潟大学に勝つことと部記録の達成を目指しましたが、結果は悔しいものとなりました。しかし、全日本を経験できた後輩たちはきっと来年以降の偉大なる記録や結果につなげてくれるはずです。引き続き、応援の程よろしくお願いします。来年からは私もOBとして最大限の応援をするつもりです。

最後に、東北大学学友会陸上競技部での経験は、間違いなく自分の人生の大きな糧となると確信しています。6年間の応援やご支援、本当にありがとうございました。



5区(12.4km)

安本尚生(2) 39分53秒(区間24位)

応援ありがとうございました、5区を走りました2年安本尚生です。12.4kmを39分53秒で走り区間24位でした。平均3分13秒と目標より少し遅かったですが、区間最下位から脱出できて良かったです。また、個人としては9km以降3分20秒かかってしまったことが反省です。チームとしてもまだまだ戦えていないことが明白になりました。今後もチーム全員で他大と戦える様に頑張ります。



6区(12.8 km)

深澤昇悟(2) 42分18秒(区間27位)

全日本大学駅伝の6区を走らせていただきました2年の深澤昇悟です。結果は以下の通りでした。

距離:12.8 km

タイム:42'18 (ave3'18/km)

レースの目標としてはコースに起伏が少なく、走りやすいコースのため前半は3'10ペースで入り中盤は3'15ペースで耐えていくことを目標にしていました。しかし、本番スタートしてみると予想よりも近くの位置に複数の大学の選手がおり、前の選手につられて3'05付近のペースで4km地点のアップダウンまでいってしまい、中盤は3'15あたりで耐えたもののラスト2km強で大きく失速してしまいました。大会前に散々言われていたが試合の雰囲気飲まれて冷静にスピードをコントロールできなくなっていたと思います。やはり、10000mやそれ以上のレースの経験が少なく、また単独走にも対応し切れていなかったことが主な原因だと感じました。それから、長距離を走りきるための筋力も圧倒的に欠けていると思います。来年以降成長した走りができるように今回の走りを忘れず練習に励んでいきたいと思います。

最後に、今回の全日本大学駅伝の出場においてご支援、ご協力くださったOBOGの皆様、また応援していただいた方々、本当にありがとうございました。来年また伊勢路を走り、成長した走りを見せられるよう頑張ります。

7区(17.6km)

向田祐翔(2) 59分23秒(区間27位)

7区を走りました2年の向田祐翔です。まずは、出走するにあたり、支援や試走のご協力をいただいたOBOGの皆様へ深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

結果としては59分23秒(average3'22)でした。前半5km通過が15分57秒、10km通過が32分17秒とかなりいい形でレースをスタートすることが出来、目標である3分15秒ペースの達成がかなり狙えるところでした。しかし、10kmの通過から差し込みが来てしまい、本来の走りができず、完走することやっという形

で初の全日本大学駅伝を終えることになりました。9月に行われた全日本インカレ 10000mにおいても、思うような走りができず DNF となったことから、このシーズンで全国のレベルの高さと自分の実力のなさを痛感しました。来年度は一選手としてのみならず、パートキャプテンとしてチームを引っ張り、今年度の不甲斐ない走りを払拭するために、また伊勢路に戻ってこられるよう精進したいと思います。

繰り返しにはなりますが、今回の全日本大学駅伝予選会、本戦の出走は OBOG の皆様のご支援、ご協力がなければ成しえないことでした。本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



8 区 (19.7km)

工藤大介(4) 1 時間 5 分 53 秒(区間 26 位)

今年は先頭の駒澤大学が速かったため、8 区では

例年よりも多くの大学が繰り上げスタートとなった。その中で序盤は新潟大と第一工科の選手と一緒に走る形となった。10km 通過は 32' 20 と想定よりも少し速かったが余裕をもって走っていた。しかし、12km の給水を過ぎたあたりから暑さによるダメージもあり、徐々に失速してしまった。17km 付近の下りでふくらはぎが攣りそうになり、そこからは完全に攣って止まらないように走るだけで精一杯だった。

今年では自分が 8 区を走るのだと考えて 1 年間練習してきましたが、後半失速してしまいまだまだ練習不足だったと感じました。昨年に続き悔しい走りになってしまいました。昨年達成できなかった部記録更新を来年こそは達成できるように、頑張りますので今後とも応援よろしくお願いいたします。そして、今回遠征費の支援、そして応援をして下さった OB,OG の皆様に感謝申し上げます。



◎第 51 回東北学生陸上競技選手権大会(10/16～10/17)・・・仙台市

多くの選手が入賞し、女子 100mH、女子ハンマー投げで部記録が更新されました。各種目 8 位以上に入賞した選手の結果を掲載します。

男子 400m	6 位	千葉琢巳(4)	49.25
男子 800m	4 位	尾崎祐太(2)	1:57.71
	5 位	村松兼志(M2)	1:58.19
男子 1500m	6 位	尾崎祐太(2)	4:07.97
男子 5000m	4 位	千葉航太(1)	15:54.36
	6 位	緑川翔太(3)	16:03.06
	7 位	矢島由弦(3)	16:19.24
男子 110mH	5 位	岡田幹太(3)	15.36(-0.7)
	6 位	鈴木健大(M2)	15.38(-0.7)
	8 位	古俣諒大(6)	16.26(-0.7)
男子 400mH	5 位	菅野涼太(1)	56.36
	6 位	片桐大智(M1)	59.11
男子 3000mSC	4 位	阿部圭宏(4)	9:58.55
男子 10000mW	4 位	辻本隆文(4)	48:59.91
	5 位	杉山大輔(1)	49:08.19
男子走高跳	6 位	嶋崎雄飛(3)	1m90
	7 位	平山朝陽(2)	1m90
男子棒高跳	7 位	島村惟葵(1)	4m40
男子三段跳	3 位	藤田想(2)	14m07(+0.2)
	8 位	久保田大聖(2)	13m14(+0.4)
男子やり投	4 位	川内蒼馬(2)	50m28
	7 位	秋場湧太(5)	48m05
	8 位	能澤圭輔(2)	47m89
男子 10 種競技	1 位	根本大輝(3)	6032
	7 位	米井潤風(M1)	5527
女子 800m	1 位	菅田理乃(2)	2:15.03
	2 位	加藤ひより(M2)	2:19.87
	3 位	加賀谷美結(1)	2:29.07
	4 位	江口真央(1)	2:31.28
	5 位	木村瑞葉(2)	2:35.87
女子 1500m	1 位	加藤ひより(M2)	4:56.53
女子 100mH	4 位	山崎萌々子(4)	15.11(+1.0)
女子走高跳	1 位	原田萌々子(2)	1m55
女子走幅跳	4 位	伊藤未空(3)	5m20(+2.1)
女子砲丸投	3 位	畠山千果(4)	11m11
女子ハンマー投	1 位	平谷めるも(1)	45m24

◎OB・OG 対現役対校戦(10/22)・・・評定河原グラウンド

10月22日に、評定河原グラウンドでOB・OG対現役対校戦が開催されました。結果を掲載します。

男子

	100m		400m		1500m		走 最高 得点		走幅跳		走高跳		跳 最高 得点		やり投		砲丸投		投 最高 得点		総合 得点	順 位
	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点		
古俣諒大	10.95	872		0		0	872	676	757	140	317	757	0	0	6.79	295	295	1924	1			
米井潤風	11.85	681		0	334.81	376	681	0	0	185	670	670	46.63	539	8.99	425	539	1890	2			
白鳥海知	10.66	938		0	374.06	210	938	586	556	165	504	556	0	0	8.01	367	367	1861	3			
上村赳之	11.17	823		0	331.04	394	823	627	646	150	389	646	27.00	257	7.90	360	360	1829	4			
細島慎友	11.19	819		0		0	819	677	760	180	627	760	0	0	5.79	237	237	1816	5			
藤井大陸	11.10	838		0		0	838	595	576	165	504	576	36.72	395	7.47	335	395	1809	6			
久保田大聖	11.27	801		0		0	801	635	664	150	389	664	28.10	273	6.84	298	298	1763	7			
藤井翼	12.03	645		0	398.31	129	645	623	637	150	389	637	41.22	460	8.21	379	460	1742	8			
加地拓弥	11.31	793		0	276.96	700	793	628	648	165	504	648	28.80	282	0	0	282	1723	9			
大谷航平	11.81	689		0	338.49	358	689	645	686	165	504	686	32.38	333	0	0	333	1708	10			
嶋崎雄飛	12.24	605		0		0	605	0	0	190	714	714	35.35	375	0	0	375	1694	11			
川内蒼馬	12.15	622		0		0	622	607	602	160	464	602	0	0	9.72	469	469	1693	12			
能澤圭輔	12.46	563		0		0	563	585	554	165	504	554	45.80	527	0	0	527	1644	13			
鈴木健大	11.38	778		0		0	778	570	523	170	544	544	0	0	7.23	321	321	1643	14			
宮本達夫	12.54	549		0		0	549	662	725		0	725	0	0	7.97	365	365	1639	15			
大木島壮	11.66	719		0		0	719	629	650		0	650	0	0	5.93	245	245	1614	16			
佐藤千仁	11.68	715	84.71	0	276.67	701	715	562	506		0	506	17.49	128	8.39	389	389	1610	17			
岡田幹太	11.52	748		0		0	748	571	525		0	525	0	0	6.57	282	282	1555	18			
菅野涼太	11.69	713		0		0	713	614	617		0	617	0	0	5.14	199	199	1529	19			
片桐大智	11.85	681	85.14	0	300.15	559	681	585	554		0	554		0	5.63	227	227	1462	20			
千田勤	13.67	360	53.62	655	267.29	762	762	510	402		0	402	25.83	241	0	0	241	1405	21			
吉田陸人	11.63	725	56.82	528	324.66	426	725	541	463	140	317	463	17.53	128	4.71	174	174	1362	22			
阿部竜胆	13.49	388		0	294.91	589	589	0	0	160	464	464	0	0	6.56	281	281	1334	23			
谷口尚大	12.06	639		0	278.59	689	689	479	343		0	343	0	0	5.56	223	223	1255	24			
吉田真人		0		0	269.30	749	749	467	321		0	321	0	0	4.51	163	163	1233	25			
大塚光陽		0		0	258.57	821	821	440	273		0	273	0	0	3.89	128	128	1222	26			
西里碧澄	13.49	388		0		0	388	607	602		0	602	0	0	5.66	229	229	1219	27			
赤星栄治		0		0	363.21	251	251	0	0	165	504	504	35.84	382	8.30	384	384	1139	28			
高倉直幸		0		0	296.80	578	578	523	427		0	427	16.95	121	0	0	121	1126	29			
毛内達也	13.10	451		0		0	451	495	373	160	464	464	16.62	116	5.23	204	204	1119	30			
河俣拓樹	12.56	545		0		0	545	459	306		0	306	25.90	242	0	0	242	1093	31			
板垣克		0		0	275.52	709	709	417	234		0	234	18.00	135	0	0	135	1078	32			
島村惟葵	11.63	725		0		0	725	622	0		0	0	32.46	334	0	0	334	1059	33			
倉部彰土	12.47	562		0		0	562	546	473	150	389	473	0	0	0	0	0	1035	34			
尾崎祐太		0	55.56	577	276.96	700	700	447	285	130	250	285	16.65	0	0	0	0	985	35			

八鍬佳紀		0	0	334.38	378	378	0	0	130	250	250	26.07	244	7.12	314	314	942	36
久保正樹	14.78	211	0	354.20	288	288	484	352		0	352	0	0	5.53	222	222	862	37
斉藤宥哉		0	0		0	0	582	548		0	548	0	0	5.43	216	216	764	38
柏木俊希		0	0	304.42	535	535	0	0		0	0	12.76	67	5.25	205	205	740	39
斎藤和也		0	0	275.88	706	706	0	0		0	0	0	0	0	0	0	706	40
八巻隼人		0	0	314.48	479	479	0	0		0	0	20.61	170	0	0	170	649	41
八重樫樹	13.49	388	0		0	388	423	244		0	244	0	0	0	0	0	632	42
秋場湧			0		0	0	0	0			0	46.75	541	8.17	376	541	541	43
大野誠尚		0	0		0	0	0	0		0	0	39.60	436	10.52	517	517	517	44
坂元泰			0	363.52	250	250	0	0			0	27.49	264	0	0	264	514	45
彦坂幸毅		0	0		0	0	0	0		0	0	31.40	0	8.19	378	378	378	46
常陸悠成		0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	6.32	267	267	267	47
及川拓郎		0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	5.63	227	227	227	48
吉川雄朗	15.23	160	0		0	160	0	0		0	0	0	0	8.02	0	0	160	49
鎌田勝夫	28.10		0		0	0	125	0		0	0	11.11	46	4.23	147	147	147	50

女子

	100m		400m		1500m		走 最高 得点	走幅跳		走高跳		跳 最高 得点	やり投		砲丸投		投 最高 得点	総合 得点	順 位
	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	
菅田理乃	13.20	434	60.64	392	305.99	526	526	444	280	140	317	317	15.97	108	6.36	270	270	1113	1
伊藤未空	13.65	363		0			363	526	433		0	433	14.97	95	6.13	256	256	1052	2
山崎萌々子	13.39	404		0	348.68	312	404	464	315	120	188	315	17.61	129	6.10	255	255	974	3
原田萌々子	14.12	295		0		0	295	455	299	150	389	389	12.44	63	6.24	263	263	947	4
菊地志乃	12.91	483		0		0	483	461	310	120	188	310	17.63	130	0	0	130	923	5
平谷めるも	16.74	38		0		0	38	0	0	120	188	188	0	0	10.07	490	490	716	6
江口真央		0		0	311.83	494	494	0	0		0	0	16.79	119	0	0	119	613	7
柄澤菜々美	14.46	250		0			250	413	227		0	227	0	0		0	0	477	8
小山麻妃		0		0	343.86	334	334	325	96		0	96	9.10	22	0	0	22	452	9
小釜莉代	15.58	125	76.00	39	397.26	133	133	0	0		0	0	0	0	6.55	281	281	414	10
木村瑞葉	17.71	2		0		0	2	0	0	110	131	131	9.87	31	0	0	31	164	11

◎リレーマラソン(11/12)・・・評定河原グラウンド

例年 11 月に行われていた秋保マラソンですが、コロナウイルス感染拡大の懸念により、中止になりました。代替イベントとして、評定河原グラウンドにてリレーマラソンを行いました。結果を紹介します。

1 位 ぴーなっつ 1 時間 21 分 53 秒 21

走順	氏名	周数	記録
1	吉田悠人	1	1 分 18 秒 11
2	秋場湧太	2	2 分 42 秒 68
3	辺見陽一郎	4	5 分 05 秒 01
4	田中伊織	4	5 分 20 秒 57
5	柏崎瑛貴	4	5 分 55 秒 86
6	渡辺大樹	4	5 分 08 秒 54
7	渡辺芽	4	5 分 01 秒 94
8	深澤昇悟	4	4 分 46 秒 85
9	尾崎祐太	4	4 分 53 秒 31
10	吉田悠人	1	1 分 18 秒 11
11	秋場湧太	4	3 分 11 秒 24
12	辺見陽一郎	4	4 分 59 秒 38
13	田中伊織	4	5 分 14 秒 88
14	柏崎瑛貴	4	6 分 37 秒 15
15	渡辺大樹	4	5 分 08 秒 91
16	渡辺芽	4	5 分 11 秒 67
17	深澤昇悟	4	4 分 46 秒 81
18	尾崎祐太	4	5 分 12 秒 19
最終記録	1 時間 21 分 53 秒 21		

2 位 ケンタ・コダマ ZZ 1 時間 25 分 13 秒 98

3 位 セルライタース 1 時間 25 分 57 秒 27

4 位 バイオレット不発弾 1 時間 26 分 10 秒 05

5 位 坂本順天堂大学 1 時間 26 分 39 秒 13

6 位 上村許さん 1 時間 27 分 09 秒 77

7 位 矢嶋・優勝・ゆずらない 1 時間 27 分 12 秒 06

8 位 常陸遅刻すんな 1 時間 27 分 26 秒 51

◎自己ベスト更新者一覧(10/4～11/13)

男子 100m

加地拓弥(M2)11.37(0.0) 個人選(10/16)

元木盛太(2)11.05(+0.4)

川崎市秋季市民大会(10/23)

男子 400m

千葉琢巳(4)49.25 個人選(10/16)

谷口尚大(M2)51.40 個人選(10/16)

大塚光陽(2)49.89 個人選(10/16)

男子 800m

尾崎祐太(2)1:57.71 個人選(10/16)

村松兼志(M2)1:58.19 個人選(10/16)

稲川亮太(3)2:00.64 個人選(10/16)

男子 1500m

尾崎祐太(2)4:07.97 個人選(10/17)

緑川翔太(3)4:20.06 個人選(10/17)

男子 5000m

緑川翔太(3)16:03.06 個人選(10/17)

菅原大地(1)17:58.42 個人選(10/17)

男子 110mH

西里碧澄(1)15.70 (+0.2) 個人選(10/17)

男子 400mH

菅野涼太(1)56.39 個人選(10/17)

片桐大智(M2)59.11 個人選(10/17)

男子三段跳

藤田想(2)14m07(+0.2) 個人選(10/17)

男子やり投

川内蒼馬(2)50m28 個人選(10/16)

能澤圭輔(2)47m89 個人選(10/16)

男子 10 種競技

米井潤風(M1)5527 点 個人選(10/16)

女子 5000m

小山麻妃(3)21:06.15 個人選(10/16)

女子 100mH

山崎萌々子(4)15.11(+1.0)部記録 個人選(10/16)

西條絵莉香(3)19.44(0.0) 福島大(10/22)

女子 800m

加賀谷美結(1)2:29.07 個人選(10/16)

女子ハンマー投

平谷めるも(1)45m24 部記録 個人選(10/16)

◎今後の予定

- 1月21日 第37回宮城県女子駅伝競走大会・・・名取市
2月19日 第16回日本陸上競技選手権大会 20km 競歩・・・兵庫県神戸市
未定 第19回国公立27大学対校駅伝大会・・・未定
3月12日 第26回日本学生ハーフマラソン選手権大会・・・東京都立川市
3月19日 第17回日本学生20km 競歩選手権大会・・・石川県能美市

◎編集後記

全日本大学駅伝や、秋の記録会シーズンが終わり、冬季練習の時期になってきました。今年は、昨年や一昨年に比べ試合出場の機会が多く、各大会において東北大学の選手が活躍しました。来シーズンに向け、部員一同練習に励んでまいります。OB・OGの皆様、引き続きたくさんのご声援をよろしくお願いいたします。

文責 OBOG 通信担当 須藤桃由

編集補助 牧野雅紘、酒井健

東北大学陸上競技部三秀会
〒980-0815 仙台市青葉区花壇 2-1
東北大学評定河原グラウンド内
hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp